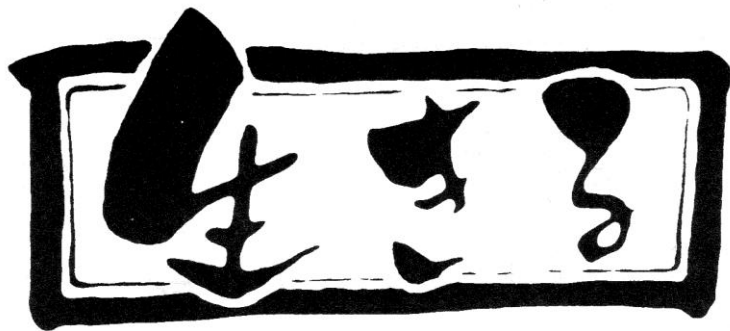




真宗大谷派 存明寺通信

No.227

2025年(仏歴2556年)9月10日

2026年(令和8年)11月2日(月)14時～・3日(火)12時～

存明寺慶讃法要(宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年)を厳修します。

講師:一楽 真先生(大谷大学長)・ヒナタカコさん(シンガーソングライター・僧侶)



私を照らす

ひかりの言葉

■ 悲しみは

悲しみを知る悲しみに
救われ、

涙は

涙にそそがれる涙に
たすけらる。

(金子大栄)

■ 聞法とは、

ことばをつかむことではなく、
ことばにつかまれる体験である。

■ 逝った大切な人と思う時、人は

悲しみを感じる。だがそれはし
ばしば、単なる悲嘆では終わら
ない。悲しみは別離に伴う現象
ではなく、無き者の訪れを告げ
る出来事だと感じることはない
だろうか。

(若松英輔)

■ 頭がいい、行動力がある、とい

つても個人的な能力でいえば、
人間の大きさなんてちよぼちよ
ぼです。

人間の大きさは、能力の大きさ
ではない。

出会いの大きさなのです。

■ 孤独ということに

一番堪えられないのが
人間です

■ 愚かさを知らない賢さ

というものは、

いかに傲慢であるか。
弱さを知らない強さ

というものが、
いかに無神経であるか。

(右3つの言葉 宮城 顥)



乗り越えることを

目指さなくていい

住職 酒井 義一



自坊で行っている存明寺グリーン
フケアのつどいには、毎回様々な
人びとがやってこられます。それ
ぞれに大切な方と別れたという経
験をお持ちの方々です。この場に
つどい、隣の人の話に耳を傾け、
自らの思いを表現していかれます。
ある時、ある人がこう語られま
した。「どうしたらこの悲しみを
乗り越えることが出来るのでしょ
うか？」その人の歩みの中から出
てきた、とても切実な問いです。
ていねいに、このつどいで大切に
していることをお伝えします。そ
れは、「悲しみを乗り越えること
を目指さなくていい」ということ
です。

人は辛さや悲しさを抱えた時、

それらをなくすことを第一に考え
てしまうようです。しかし、悲し
みはそう簡単に消えないもの。大
切な方と別れたのですから、悲し
みを感じることはごく正常な反応
です。大切なことは、悲しみを感
じたことが無駄には終わらない道
を求めて、歩み出すということに
あるのではないのでしょうか。

親鸞聖人の教えに生きられた
和田 稠先生が、ある青年僧侶に
語られた言葉を思い出します。

青年僧侶は苦しみや悩みがあつて、
それを何とかなくしたいと思つて
先生のお話を聞きにいかれたそう
です。その青年僧侶に向かつて先
生はこう言われました。「あのな
あ、苦悩する者を人間というんや、

じゃ君は隣で泣いとる人がおつて
も、苦しんでいる人がおつても、
自分だけは悩みもせず苦しみもし
ない、そんなロボットのような人
間になりたいんか」と。

苦悩する者を人間という・・・。
苦しみや悲しみはなくなったり乗り
越えるものではなく、苦しんだこ
とと悲しんだことの意味を問い訪ね
ていくべきもののようです。

苦悩したことからこの私が何を
学ぶのか、その一点をこそ大切に
したいものです。

『心のとまり木』

—あなたの悩みに
そつと寄り添う本—
(真宗大谷派名古屋別院)
より転載しています



↑ つどいにはルール(願い)があります



↑ 車座になって聞き合い語り合う時間



↑ 存明寺グリーンフケアのつどいの様子

存明寺（ぞんみょうじ） お寺の活動あれこれ

◆樹心の会

親鸞聖人に人生を学ぶ聞法会です。住職とご門徒有志によるお話があります。3名各20分、合計60分のお話です。その後、グループに分かれて語り合いの時間です。それぞれの受け止めや感想などが語られています。

大切に行っていることは「話を聞くこと」と「自分を語ること」です。9月から下半期が始まります。ぜひ足をお運びください。

◆真宗聖典輪読会

副住職夫妻が主催する会です。親鸞聖人の教えが書かれた真宗聖典を輪読しています。副住職からのお話があり、その後座談会が行われ、語り合いが行われています。副住職こだわりのコーヒータム（御菓子と共に）もあります。

どうぞお気軽にご参加ください。

◆おそうじの日

9月19日（金）13時より、お彼岸法要に向けて墓地の植木の剪定や掃き掃除を行います。お手伝いいただける方を募集しています。目に見えて綺麗になるので、とても気持ちがいい、と評判です。汚れてもよい服装でお出かけください。ご協力をお願いいたします。

◆ぞんみょうじこども会

1992年から行われている子ども会、すでに33年が経過しました。毎月一回、子どもたちがお寺に集まってきます。メンバー制のこども会、現在は20名の子どもたちが参加中です。

春は宝さがしに鬼ごっこ、夏は炭火焼きに水遊び、秋は寺町散歩、冬は室内遊びにたこ焼きパーティーなどなど。

名前を呼び合い、深いお付き合いを目指して活動中です。

お寺の活動あれこれ 写真館



↑ 真宗の世界に触れる真宗聖典輪読会



↑ 人々をお迎えする存明寺のいろり



↑ 親鸞に人生を学ぶ「樹心の会」



↑ 真夏のこども会、冷えたスイカをガブリ！



↑ おそうじの日、おやつの時間です



↑ 開設10周年を迎える子ども食堂

2025(令和7)年 お寺のひろば

9月13日(土) 14時 樹心の会

お話：岡田真氏・藤井良子氏・酒井住職

内容：勤行・お話・語り合い・全体会

9月19日(金) 13時 おそうじの日

庭木の剪定と清掃のつどい

9月23日(火) 11時と13時 秋のお彼岸法要

お話：吉山綾子氏・山田政孝氏・酒井住職

9月27日(土) 14時 グリーフケアのつどい

大切な方を亡くされた人へ

内容：法要・ミニ法話・語り合い・音楽鑑賞

10月11日(土) 14時 樹心の会

お話：三好浩一氏・酒井あゆみ氏・酒井住職

内容：勤行・お話・語り合い・全体会

10月17日(金) 13時 日帰り旅行会(特別企画)

存明寺の歴史を訪ねて(港区への旅)

10月24日(金) 10時 おみがきのつどい

11月2日(日) 14時 報恩講のゆうべ

3日(月) 12時 報恩講

講師：保々眞量氏(九州教区光行寺)

内容：報恩講法要・法話・お斎(3日)

11月15日(土) 14時 樹心の会

お話：清光やす子氏・酒井浩美氏・酒井住職

内容：勤行・お話・語り合い・全体会

12月13日(土) 14時 樹心の会

お話：吉山浩文氏・酒井大樹氏・酒井住職

12月20日(土) 14時 グリーフケアのつどい

大切な方を亡くされた人へ

1月1日(元旦) 10時 年のはじめの修正会

内容：正信偈・年頭法話・乾杯・書き初め

今年の目玉企画 旅行会と報恩講

10月17日(金) 13時 日帰り旅行会

— 存明寺の歴史を訪ねて —

存明寺があつた港区芝金杉や南麻布の寺院をたずねる旅。この秋おすすめの企画です。
参加費：5,000円(夕食代を含みます)



11月2日(日) 14時 報恩講のゆうべ

3日(月) 12時 報恩講法要

内容：報恩講法要・法話・お斎(3日)

講師：保々眞量先生(九州教区光行寺)

感話：井ヶ瀬恵子氏・城ノ下恭博氏

どうぞご参詣ください。お待ちしております。



永代経2025速水馨氏を囲んで



存明寺夏まつりの風景2025

【あとがき】

▼いつの頃からでしょうか、夏がこんなに過酷になったのは。夏は昔、一番好きな季節でした。

▼ところが今や夏は、猛暑・酷暑・熱中症・うだる季節・身の危険・救急搬送などの言葉とセットになってしまった気がします。

▼9月のお寺の掲示板の言葉から。「すべてのことが／いつの日か／「無駄ではなかった」／といえたらいい」(真宗児童聖典より)

▼この夏の猛暑も「このままで良いのか」「いかに生きるのか」という自然からの問いかけ・呼びかけなのかもしれません。

▼「無駄ではなかった」と言える世界を、人間は心の奥底で願い求めているのではないのでしょうか。

住職 薺



東京都世田谷区北鳥山4-15-1

真宗大谷派 存明寺(ぞんみんやうじ)

住職 酒井義一(釋諦信)

〒157-0061 TEL. 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zomyoji.jp